

設置計画は予定であり、名称を含む内容等について今後、変更が生じる可能性があります。最新の内容については、本学ホームページ、学生募集要項等で公表しますので、ご確認ください。

令和6年度（2024年度）地域未来共創学環（仮称）入学者選抜について（予告）【改訂版】

茨城大学では、令和6年（2024年）4月に、学部相当の教育組織「地域未来共創学環（仮称）」を設置することを構想しています。

地域未来共創学環（仮称）では、以下のとおり令和6年度（2024年度）入学者選抜の実施を予定しています。

I. アドミッション・ポリシー

地域未来共創学環（仮称）では、以下の4つの能力と資質を有する多様な志願者に対して、適切な方法の選抜を行って入学者を決定します。

地域未来共創学環（仮称）のアドミッション・ポリシー

〔入学者に求める能力・資質〕

地域未来共創学環（仮称）では、ビジネスとデータサイエンスを中心とした分野・文理横断の学びから、地域課題の解決や、新たな価値創出に挑戦する実践的な人材を育成します。したがって、地域未来共創学環（仮称）において入学者に求める能力・資質は以下のとおりです。

1. **（知識・技能）** 地域未来共創学環（仮称）における分野・文理横断的な学修に必要な基礎学力を有していること
2. **（知的関心）** 社会や地域における様々な課題の背景や解決に対する知的関心を有していること
3. **（思考力・判断力・表現力）** これまでの学習と生活において、多様な人々と共に課題解決をめざした経験があり、そのための基礎的な思考力・判断力・表現力を有していること、あるいは、それらを身に付ける意欲を有していること
4. **（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）** これまでの学習と生活において、多様な人々とコミュニケーションを積極的に行い、地域課題の解決を意識して主体的に活動した経験があること、あるいは地域課題の解決に向けて探究する意欲を有していること

入学者選抜において評価する能力・成果	1) 分野・文理横断的な学修に必要な国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語の基礎学力 2) 社会や地域における様々な課題の背景や解決に対する関心と学修意欲 3) 多様な人々と協働して地域課題を解決していくための基礎的な思考力・判断力・表現力、あるいは、それらを身に付ける意欲 4) 多様な人々と協働するために必要なコミュニケーション能力と、地域課題の解決を意識して主体的に活動した経験、あるいは地域課題の解決に向けて探究する意欲
評価方法	【総合型選抜】 ア 調査書 主に1)を評価します。 イ 集団活動 主に3)及び4)を評価します。 ウ 面接 主に2)、3)及び4)を評価します。 【一般選抜（前期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1)を評価します。 イ 個別学力検査等（数学又は英語） 主に1)の一部を評価します。 ウ 個別学力検査等（面接） 主に2)、3)及び4)を評価します。 【一般選抜（後期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1)を評価します。 イ 個別学力検査等（面接） 主に2)、3)及び4)を評価します。

設置計画は予定であり、名称を含む内容等について今後、変更が生じる可能性があります。最新の内容については、本学ホームページ、学生募集要項等で公表しますので、ご確認ください。

II. 入学定員(募集人員)

(単位：人)

入学定員	募集人員				
	一般選抜				総合型選抜
	前期日程			後期日程	
	数学選択	外国語（英語） 選択	計		
40	12	12	24	7	9

※地域未来共創学環（仮称）の総合型選抜において入学手続きが募集人員に満たなかった場合は、一般選抜前期日程の合格者で補充します。

※地域未来共創学環（仮称）の一般選抜前期日程は個別学力検査で選択する教科で選抜区分をわけ、募集人員を数学選択者 12 名、外国語（英語）選択者 12 名とします。

III. 一般選抜

1. 前期日程

①出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で、令和 6 年度大学入学共通テストの教科・科目のうち、本学が指定した教科・科目（p.7 の別紙参照）をすべて受験した者（**本学が指定した教科・科目を一つでも受験しなかった者は無資格者となり、本学に出願することはできませんので注意してください**）

- (1) 高等学校又は中等教育学校（以下、「高等学校等」という）を卒業した者及び令和 6 年 3 月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和 6 年 3 月修了見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者及び令和 6 年 3 月 31 日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和 6 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和 6 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び令和 6 年 3 月 31 日までに合格見込みの者（同規則附則の規定による廃止前の大学入学資格検定規程により大学入学資格検定に合格した者を含む）
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和 6 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者

設置計画は予定であり、名称を含む内容等について今後、変更が生じる可能性があります。最新の内容については、本学ホームページ、学生募集要項等で公表しますので、ご確認ください。

※出願資格（8）で出願する者は、本学における個別入学資格審査が必要となります。詳細は入学者選抜要項を参照してください。

②選抜方法

実施教科・科目等の詳細は、p.7の別紙を参照してください。

【大学入学共通テストに関する注意事項】

- ・地域未来共創学環（仮称）の一般選抜では「地理歴史、公民」と「理科」をそれぞれ1科目以上（理科①は2科目で1科目として扱う）、合計3科目の成績を利用します。3科目を超えて選択した際の成績は以下のとおり利用します。

受験者が選択した科目	合否判定に用いる成績 ※（ ）内は配点
「地理歴史、公民」から2科目、「理科②」から2科目	以下の成績を利用します。 (1)「地理歴史、公民」の第1解答科目の成績(100) (2)「理科②」の第1解答科目の成績(100) (3)「地理歴史、公民」と「理科②」の第2解答科目のうち高得点の成績(100)
「地理歴史、公民」から2科目、「理科①」から2科目、「理科②」から1科目	以下の成績を利用します。 (1)「地理歴史、公民」の第1解答科目の成績(100) (2)「地理歴史、公民」の第2解答科目、「理科①」2科目、「理科②」のうち高得点の2つの成績(100×2)

設置計画は予定であり、名称を含む内容等について今後、変更が生じる可能性があります。最新の内容については、本学ホームページ、学生募集要項等で公表しますので、ご確認ください。

【個別学力検査等の各教科・科目等の出題意図】

個別学力検査等	出題意図
数学 (* 1) } から 外国語 [英語] (* 2) } 1教科選択	<p>数学、外国語 [英語] のうち、出願時に届け出た 1 教科について解答させます。</p> <p>(数学)</p> <p>数学 I、数学 II、数学 A、数学 B を出題範囲とし、高等学校数学についての基礎的な知識と問題解決力、論理的思考力、表現力、記述力などを評価する問題を出題します。</p> <p>また、数学 B に関しては、次のとおり内容を指定します。</p> <p>【数学 B (数列、ベクトル)】</p> <p>(外国語 [英語])</p> <p>コミュニケーション英語 I、コミュニケーション英語 II、英語表現 I の範囲内で出題します。ある程度まとまった英語の文章の読解力と英語による基礎的な表現力などを身につけているかどうかをみます。</p>
面接	<p>個人面接 (10 分程度) で行います。志望動機、本学環で学ぶことへの学習意欲、地域課題への関心などをみることを主眼とします。</p>

(* 1) 教育学部学校教育教員養成課程教科教育コース理数教育系数学選修と地域未来共創学環 (仮称) (前期日程) の個別学力検査で課す「数学」は、共通の試験問題です。

(* 2) 人文社会科学部、工学部、農学部及び地域未来共創学環 (仮称) (前期日程) の個別学力検査で課す「外国語 (英語)」は、共通の試験問題です。

2. 後期日程

①出願資格

「前期日程」と同様

②選抜方法

実施教科・科目等の詳細は、p.7 の別紙を参照してください。

【大学入学共通テストに関する注意事項】

「前期日程」と同様

設置計画は予定であり、名称を含む内容等について今後、変更が生じる可能性があります。最新の内容については、本学ホームページ、学生募集要項等で公表しますので、ご確認ください。

【個別学力検査等の各教科・科目等の出題意図】

個別学力検査等	出題意図
面接	個人面接（15分程度）で行います。志望動機、本学環で学ぶことへの学習意欲、地域課題への関心などをみることを主眼とします。面接の内容には5分程度の自己PRを含みます。自己PRは口頭のみで実施し、資料等の提出や提示は求めません。

IV. 総合型選抜

①出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校（中等教育学校を含む）を令和5年3月以降に卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和5年3月以降に修了した者及び令和6年3月修了見込みの者
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を、令和4年4月から令和5年3月までに修了した者及び令和5年4月から令和6年3月までに修了又は修了見込みの者

②出願要件

次の要件を全て満たし、地域未来共創学環（仮称）での勉学を強く志望し、合格した場合に必ず入学することを確約できる者

- (1) 社会課題の解決に対する深い関心を持ち、主体性をもって地域と関わる活動経験を有する者（学校の内外を問わない）
- (2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者で、かつ、数学の学習成績の状況が4.0以上の者
- (3) 数学の教科で以下 (i)、(ii)のうちいずれかを履修した者又は履修している者
 - (i) 数学 I、数学 II、数学 A、数学 B の全ての科目
 - (ii) 理数数学 I、理数数学 II の全ての科目

設置計画は予定であり、名称を含む内容等について今後、変更が生じる可能性があります。最新の内容については、本学ホームページ、学生募集要項等で公表しますので、ご確認ください。

③選抜方法（※青文字部分は削除）

~~志願者が募集人員の3倍を上回る場合は、2段階選抜を実施する場合があります。その場合は、第1次選抜として書類審査を行い、その合格者に対して、第2次選抜を実施します。また、書類審査の得点は第1次選抜のみに利用し、第2次選抜では利用しません。2段階選抜を実施しない場合は、第2次選抜のみを全ての志願者に対して実施します。~~

~~【第1次選抜】~~

~~〈書類審査〉~~

~~出願時に提出した活動報告書、志願理由書、調査書を評価します。~~

~~配点は、活動報告書（20点）、志願理由書（10点）、調査書（10点）とします。~~

~~【第2次選抜】~~

集団活動及び面接の結果を総合して評価します。

〈集団活動〉

1 グループを5人程度とし、集団活動（60分程度）を実施します。提示された地域課題について議論し、その結果を取りまとめ、グループで発表します。その後、30分間で集団活動を振り返った作文を各自で作成します。

〈面接〉

個人面接（15分程度）で行います。出願時に提出した「活動報告書」、「志願理由書」、「調査書」と集団活動終了後に作成した「作文」を参考に、志望動機、本学環で学ぶことへの学習意欲、地域課題への関心などをみることを主眼とします。

※配点

集団活動	面接	出願書類 (活動報告書・志願理由書・調査書)	作文 (*2)	配点合計
40	60	(*1)	(*1)	100

(*1) 面接の参考資料として利用することを表します。

(*2) 試験当日、集団活動終了後に作成します。

令和6年度入学者選抜における利用教科・科目等(地域未来共創学環(仮称))

設置計画は予定であり、名称を含む内容等について今後、変更が生じる可能性があります。最新の内容については、本学ホームページ、学生募集要項等で公表しますので、ご確認ください。

学部	学科・課程等	日程	大学入学共通テストの利用教科・科目等			個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											
			教科	科目名	本学が課す科目数及び科目選択の方法等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	数学①	数学②	外国語	地歴	公民	理科①	理科②	面接	配点合計	
地域未来共創学環(仮称)	前期	国	国		1	数学*3 外国語	から1教科選択	数Ⅰ、数Ⅱ、数A、数B 英語 (コミュニケーション英語Ⅰ、 コミュニケーション英語Ⅱ、 英語表現Ⅰ)	大学入学共通テスト	200	100	100	200	300*5					900
			数	①数Ⅰ・数A	1				計2科目	個別学力検査	200*4					100	300		
			②数Ⅱ・数B	1	から3 *2	計	200	600			300			100	1200				
		外	英、独、仏、中、韓	から1			その他	面接	大学入学共通テスト	200	100	100	200	300*5				900	
		地歴	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B	から1又は2		面接				個別学力検査	200					300	300		
		公民	現社、倫、政経、倫・政経	から1又は2			その他	計	200		200		200	300			300	1200	
		理	①物基、化基、生基、地基	から1又は2	[5教科7科目又は8科目]又は[6教科7科目又は8科目]	面接			大学入学共通テスト	200	100	100	200	300*5				900	
			②物、化、生、地	*1			面接	個別学力検査		200					300	300			
									計	200	200		200	300			300	1200	

*1 地域未来共創学環(仮称)(前・後期日程)において大学入学共通テストで課す「理科」で同一名称を含む科目同士を選択した場合は、「理科①2科目の合計得点」と「理科②1科目の得点」のうち高得点科目の成績のみが有効となるため、「地理歴史、公民」を2科目選択する必要があります。

理科①は2科目で1科目として扱い、配点は100(50+50)点とします。理科②の配点は1科目100点とします。

*2 地域未来共創学環(仮称)(前・後期日程)において大学入学共通テストで課す「地理歴史、公民」と「理科」をそれぞれ1科目以上(理科①は2科目で1科目として扱う)、合計3科目の成績を利用します。

*3 地域未来共創学環(仮称)(前期日程)の個別学力検査で課す「数学」の数Bについては、次のとおり内容を指定します。【数B(数列、ベクトル)】

*4 配点は、個別学力検査の「数学」または「外国語」から選択した1教科を200点とします。

*5 配点は、次のとおりとします。

[地理歴史、公民から1科目かつ理科から2科目を選択の場合]:300(100+200)点

[地理歴史、公民から2科目かつ理科から1科目を選択の場合]:300(200+100)点